

手相から読む『魂のテーマ』
鑑定書

サンプル鑑定書

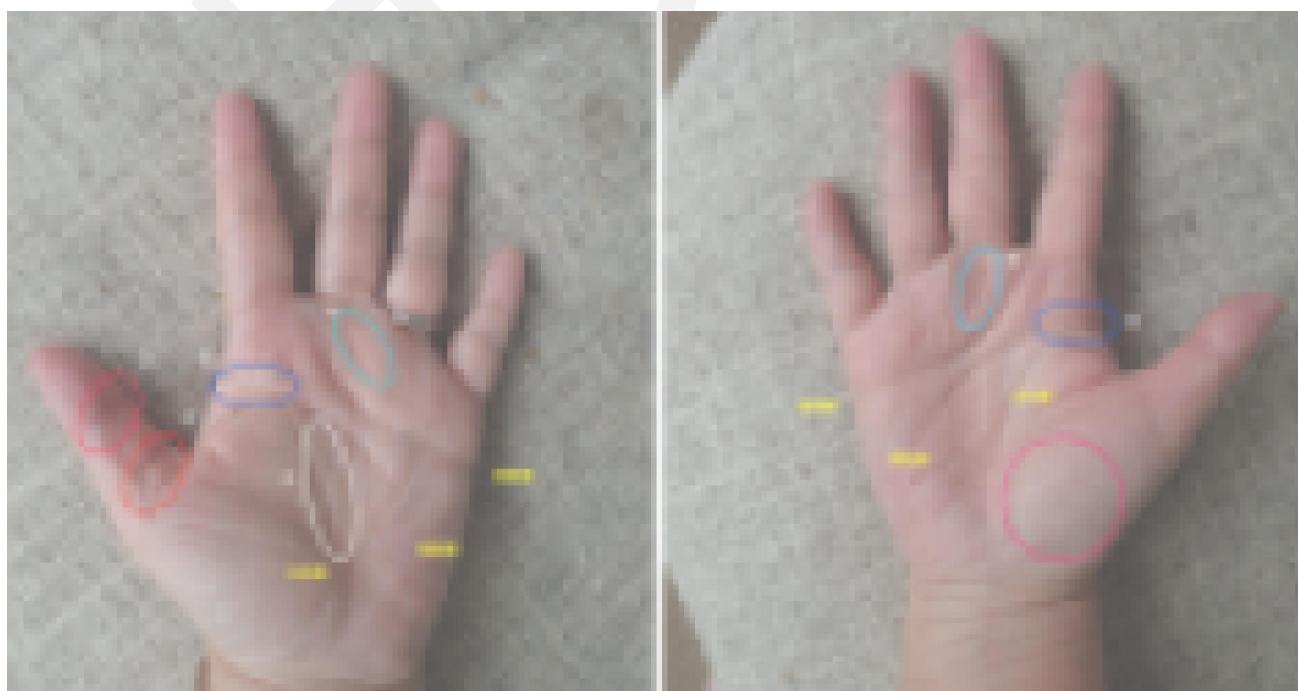
小鳥遊陽柊

手相から読む『魂のテーマ』鑑定書

目次

1. はじめに.....	1
2. 手相から見える全体印象.....	2
3. 魂の持つ力.....	3
4. 繰り返しやすいテーマ・つまずき.....	6
5. 現実での活かし方.....	9
6. 今の流れ.....	14
7. これからの小さな一手.....	15
8. Aさんへの魂のテーマ・メッセージ.....	18

A 様の手相



1. はじめに

Aさん、このたびは手相を拝見させていただき、ありがとうございました。

この鑑定は、Aさんからお問い合わせのあった「魂レベルでの仕事とは何か」を、一言で断定するためのものではありません。

「あなたの使命はこれです」

「この道に進むために生まれてきました」

というように、人生の答えを決めつける鑑定ではない、ということを最初にお伝えしておきます。

今回の鑑定では、手相にあらわれている持ち味、これまで育ててこられた力、今後の仕事や活動の中で活かしやすい方向性を読み取り、Aさんがこれから現実の中でどのように力を使っていくとよいかを整理していきます。

占いは、人生を預けるためのものではありません。

自分の中にある力を思い出し、これからの選択を自分で決めていくための視点です。

特に今回のように、仕事や事業の先行きが気になる時は、「正解」を外からもらいたくなることがあります。

少子化、WEB塾、AI家庭教師など、教育を取り巻く環境は大きく変わっています。

その中で、これまで続けてきた学習塾の形をどうするのか。

教えることが好きという持ち味を、今後どう活かしていくのか。

お子さんたちの将来への心配も含めて、Aさんの中には、いくつもの現実的な不安があるのだと思います。

その不安を無理に明るく片づける必要はありません。

ただ、手相を拝見すると、Aさんの「教える力」は、今までの塾という形だけに閉じ込めておくには少し惜しいように見えます。

今回の鑑定では、Aさんの手相にあらわれている深い持ち味をもとに、
「これから何を大切に仕事を組み立てていくとよいか」
「今までの経験を、どのように次の形へ変えていけるか」
を見ていきます。

2. 手相から見える全体印象

Aさんの手相を拝見して、まず強く感じるのは、人を育てること、場を作ること、相手に合わせて伝えることに向けた手相である、という点です。

手のひら全体にはほどよい厚みがあり、指も比較的まっすぐです。線の出方も、一本の線だけが極端に強く主張するというより、複数の要素が重なりながら、全体として「人と関わりながら仕事をしてきた人」という印象を作っています。

Aさんの場合、単に知識を持っているだけではなく、その知識を人に渡す力が手相に出ています。

ここで特に大切なのが、

中略(以降約2ページ半にわたって解説)

3. 魂の持つ力

3-1. 知識を、相手に届く言葉へ翻訳する力

Aさんの魂の持つ力として、まず大きく出ているのは、知識を相手に届く言葉へ翻訳する力です。

これは、単に「説明が上手」というだけではありません。

中略(以降約2ページにわたって解説)

3-2. 学びにつまずいた人を、もう一度立て直す力

A さんの手相には、すでに順調に走れている人をさらに急がせる力よりも、途中で足が止まってしまった人に、もう一度進む道筋を見せる力が強く出ています。

これは、頭脳線や感情線の印象にもあらわれています。

A さんの頭脳線は、現実的な判断力だけでなく、相手の背景や内側まで見ようとする

中略(以降約1ページ半にわたって解説)

3-3. 局面ごとに道を切り開き、場を作り直す力

Aさんの左手生命線には、短いながらも複数の開運線(⑦)が見られます。

開運線とは、生命線から上向きに伸びる短い線で、努力、転機、前向きな挑戦、自分で状況を切り開く力を示す相として見ます。

中略(以降約1ページ半にわたって解説)

4. 繰り返しやすいテーマ・つまずき

4-1. 努力や経験を表に出さず、価値が伝わりにくくなる

Aさんの手相では、深い部分にある教える力や、積み重ねてきた努力が、左手に強く出ています。

これはとても良い相です。

ただし、仕事として今後展開していく時には、少し注意が必要です。

中略(以降約1ページにわたって解説)

4-2. 受け皿になろうとして、背負いすぎる

Aさんの手相には、身近な人を支える力が出ています。

親指のつけ根にある金星丘には、生活力や愛情、身近な人を守る力があらわれます。

Aさんの金星丘は弱々しい印象ではなく、面倒見や責任感がある方に見えます。

これは、塾経営や子育ての中で大きな力になってきたと思います。

ただし、今回のご相談では、お子さんたちの将来への心配もあり、できれば経営を立

中略(以降約1ページ半にわたって解説)

4-3. 同じ頑張り方で乗り越えようとしてしまう

左手生命線の複数の開運線を見ると、Aさんはこれまでも何度も局面を越えてきた方です。

だからこそ、今回も

「もっと頑張れば何とかなるのではないか」

「もう少し工夫すれば、今までの形で持ち直せるのではないか」

と考えやすいかもしれません。

中略(以降約1ページにわたって解説)

5. 現実での活かし方

Aさんの今後の仕事は、従来型の学習塾一本にこだわるより、これまでの教育経験を再編集し、もう少し専門性を絞った形にしていくとよさそうです。

特に合いやすいのは、

中略(以降約1ページにわたって解説)

5-1. 学びにつまずいた子のための個別学習相談

これは、Aさんにかなり合う方向です。

普通の授業をする前に、

「この子はどこで分からなくなっているのか」

中略(以降約半ページにわたって解説)

5-2. 保護者向け・家庭学習の整え方相談

今後、塾に通う子が減ったとしても、子どもの勉強に悩む親御さんはいなくなります。

むしろ、選択肢が増えるほど、

中略(以降約半ページにわたって解説)

5-3. 少人数制の学習伴走

Aさんは、派手に大きく集客するより、信頼できる人たちと近い距離で関わる方が合
いやすい手相です。

そのため、いきなり大規模なオンライン講座や全国展開を狙うより、まずは少人数制

中略(以降約半ページにわたって解説)

5-4. 経験を文章や教材にする

Aさんにとって、今後とても大切なのは、これまでの経験を言葉にして残すことです。

これまで現場で見てきたことを、Aさんの中だけに置いておくのはもったいないです。

中略(以降約1ページにわたって解説)

6. 今の流れ

Aさんは今、これまでの仕事が終わる時期にいるわけではありません。

ただし、これまでと同じ形のまま続けるには、かなり無理が出やすい段階に来ています。

言い換えるなら、仕事の本質を残し、形を変える時期です。

Aさんの仕事の本質は、

中略(以降約1ページにわたって解説)

7. これからの小さな一手

Aさんにまずおすすめしたい一手は、次の3つです。

7-1. これまで相談されてきた「学習のつまずき」を 10個書き出す

まず、今まで塾で見てきた相談や困りごとを、10個書き出してみてください。
たとえば、

中略(以降約1ページにわたって解説)

7-2. 本当に支えたい対象を3つに絞る

次に、Aさんが今後支えたい対象を3つに絞ってください。

たとえば、

中略(以降約1ページにわたって解説)

7-3. 小さな相談メニューを1つ作る

最初から大きな新事業にしなくて大丈夫です。

まずは、既存の保護者さんや卒業生、紹介で来られる方に向けて、小さな相談メニューを1つ作ってみてください。

たとえば、

中略(以降約1ページにわたって解説)

8. Aさんへの魂のテーマ・メッセージ

Aさんの手相を拝見すると、教える力はまだ終わっていません。

むしろ、これまでの経験をそのまま塾の中だけに置いておくより、もう少し違う形へ広げていく段階に来ているように見えます。

Aさんの魂のテーマは、教科を教えることだけではありません。

中略(以降約1ページにわたって解説)

ただし今度は、同じ頑張り方を増やすのではなく、これまでの経験を必要な人に届く形へ組み替えていくこと。

それが、Aさんのこれからの仕事を開いていく一手になりそうです。

今回の鑑定は以上となります。

この鑑定が、未来へと進むための、確かな一歩となることを心より願っております。



小鳥遊陽柊

【公式HP】小鳥遊陽柊占い鑑定 Room

<https://takanashi-palmread.com/>

各種鑑定・講座メニュー

<https://takanashi-palmread.com/menu>

